

サポセンだより



秋も深まり、学校では感染症対策を講じながらも、子どもたちのために様々な教育活動が展開されていることと思います。細やかな配慮や確認が必要な先生方のご苦勞に、頭が下がる思いです。

今後、学校とサポートセンターがさらに連携を深め、子どもたちの健やかな成長を支えることができますよう、よろしくお願いいたします。

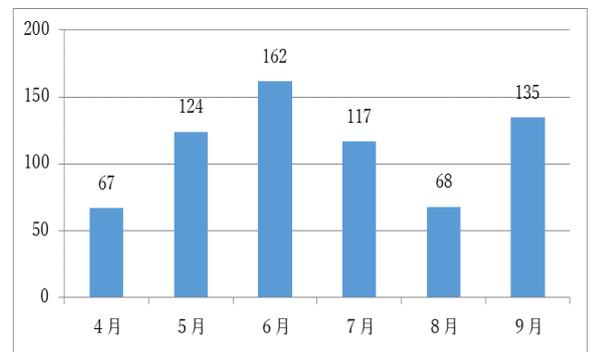
今回は、9月までの半年間のサポートセンターでの取組や現状などをお伝えします。サポートセンターに寄せられる相談は、児童生徒・保護者とも、登校渋りになり不安になっているケースが増えているように感じます。

◇相談部から・・・◇

1 上半期相談集計について

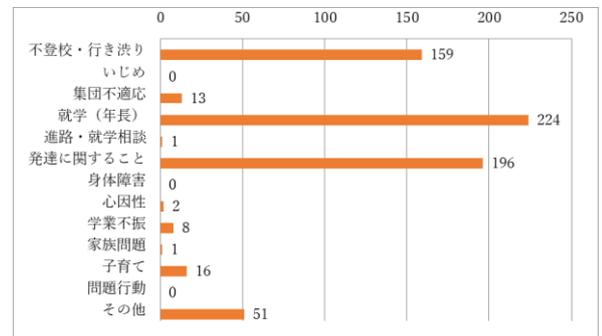
○月別相談件数

- ・今年度上半期の相談総数は 671 件で、昨年度の同時期より 35 件減少しました。
- ・5月から、年長児のための就学相談や幼稚園・保育園訪問、学校訪問が本格的に始まるため、相談件数が急激に増えています。
- ・前期半年で、小中学生の保護者の新規の相談は 23 件でした。



○主訴別相談総数

- ・主訴別に見ると、「就学（年長）」「発達に関する事」「不登校・行き渋り」の順で多く、「発達」と不登校・行き渋りが重複している相談も多くあります。
- ・「不登校・行き渋り」の主な要因として、「人間関係」「学習が分からない」「集団生活になじめない」を挙げるケースが多く見られました。学校での居場所を考えてくださるケースも多く、親子の安心感に繋がっています。



2 相談部での関わりより

不登校だったA君の事例 ～A君の良さを認める取組～

小学校低学年から不登校のA君。高学年では行事には参加できたが、それ以外は完全不登校。放課後は友達と遊ぶこともあった。中学校に進学したことをきっかけに登校できるようになる。

手立て

- 小2からサポートセンターで月1回の母子平行面接。プレイセラピーによるボードゲームやお絵描き等の活動。中学生になるとA君のみの面接。
- 言葉の教室への通級。○医療機関の受診。○心理士のセラピーを時々活用。発達特性、認知、ストレス、パーソナリティ、人間関係等を総合的に把握するBPSモデルによるアセスメントを行い、長期に渡って支援を行った。学習面では今も困難な状況があるが、学校・家族が、不得意な面も含めて本児を受け止めている。A君の心のエネルギーが高まったことが登校を促した。放課後の遊びも社会から孤立しない状況を作った。

◇スマイル教室から・・・◇



1 通級状況について

スマイルに通級している子は、皆、一人一人のペースで通級しています。中には、休まずに在籍校に登校できている生徒や部活動・行事等で在籍校に行っている子もいます。

現時点での通級児童生徒数は、仮通級も含めて37人で、9月・10月は、スマイル教室への見学相談や通級する子どもも増えています。

2 活動状況

スマイル教室では、学習を中心とした通常活動と体験活動、個人面談、保護者会等の活動を行っています。

〔通常活動〕

- ・9：30～15：00を4コマに分けて実施しています。(水曜日は14：20まで)
- ・朝の会(読書、輪読)、個別学習、集団活動(コミュニケーションゲーム)と体育活動(軽スポーツやテニス教室等)を組み合わせて実施しています。曜日ごとに実施内容を少し変更することがあります。

〔体験活動等〕

- ・今年度は、コロナ禍以前と同様の活動ができるようになってきました。主なものとして、英語教室(月1回)、タブレット教室(月2回)、図書館業務体験(月1回)、親睦会(6月)、茶道教室(6月)、校外学習(10月)、今後の予定として、ふれあいキャンプ(県教委主催)への参加(10月)、そば打ち体験教室(12月)、卒業生送る会(2月)があります。
- ・実施した行事について簡潔に紹介します。親睦会では、仲間と一緒にホットケーキ作りと会食、ゲームを通して親睦を深めました。茶道教室では、講師の先生方をお迎えして茶の文化に触れ、また体験することを通して人を尊びもてなす心を学びました。校外学習では、カルビー清原工場において製品製造の衛生管理や製造工程を見学し、宇都宮市立美術館では作品鑑賞の仕方などの説明を受けた後に作品を鑑賞しました。

〔個人面談〕

- ・在籍する児童生徒と担当職員が年5回定期面談を行い、心理面や進路についてサポートしています。定期面談以外にも児童生徒の様子を見て面談を行います。
- ・必要に応じて、相談部相談員や心理士が継続面談を行っています。

〔保護者会〕

- ・保護者会を年3回実施しています。相談部相談員を含むセンター職員も参加しています。今年度第1回目(7月)には、市内栄養教諭による「熱中症予防のための水分補給と調理」についての講話と実習を行いました。
- ・第2回目(9月)には、中学校の進路指導主事を招いての研修を行いました。その後、スマイル教室での学習への取り組み方が前向きになった子がいました。



3 スマイル教室に在籍している児童生徒の担任の皆様へ

ぜひ児童生徒の様子を見に来てください。担任の先生と話ができると大変励みになります。プリントや配布物などをこまめに届くようにしていただきますと、児童生徒の不安が和らぐと思います。また、担当職員との情報交換をよろしくお願いします。